2008静岡地方大会（144MHz）での私の判断と行動

2008年9月21日（日）
於　静岡県掛川市

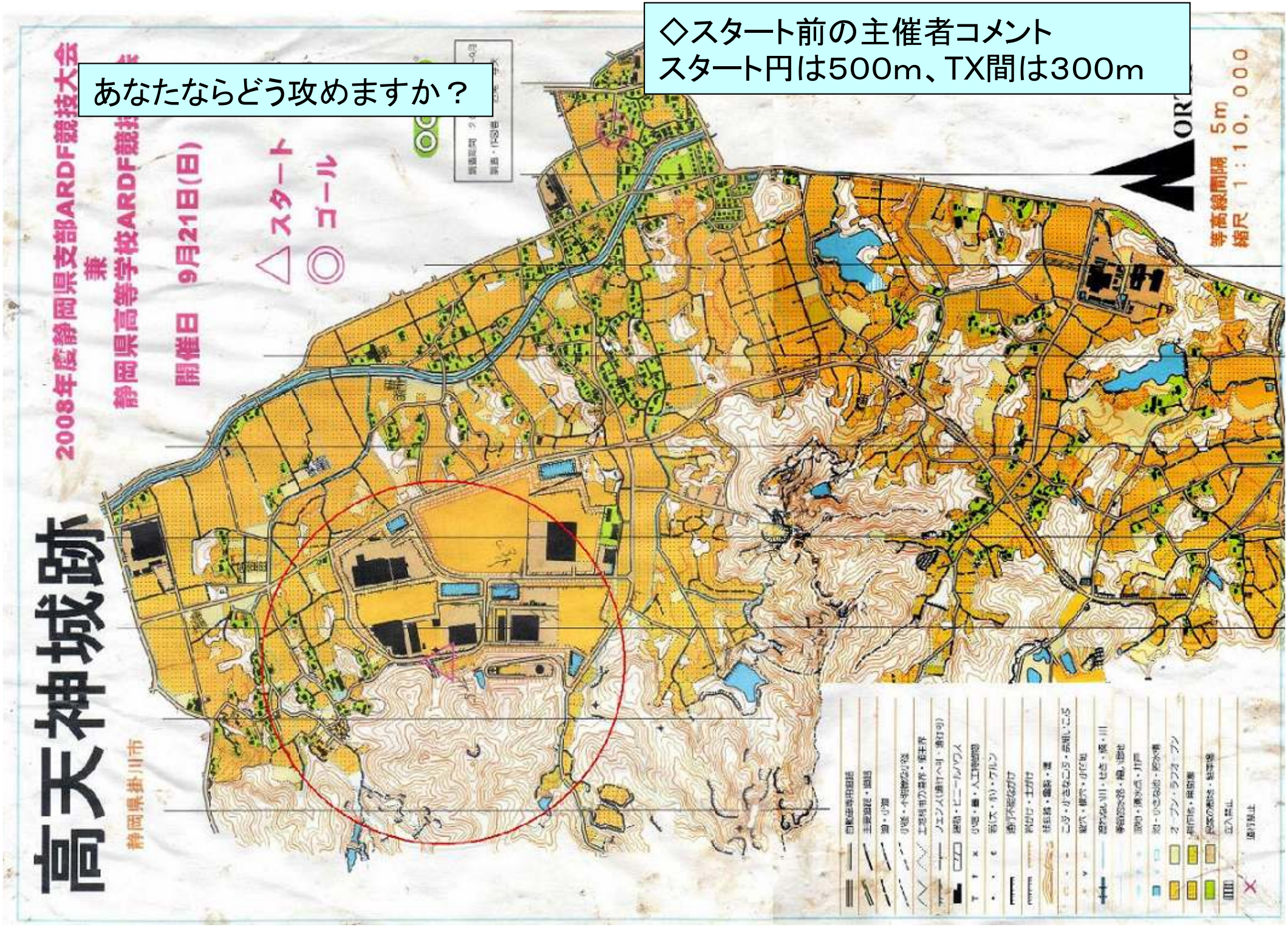
安島　巧

初めに

　このドキュメントは、ARDF競技に参加したときに、私がどういう場面でどういう判断をしたかを記憶を頼りに記録したものです。
　従って、「こうすべき」という正解を記載したものではありません。
　ARDFに参加した一競技者の話として、主に初心者の皆さんの役に立てられればと思って作成いたしました。

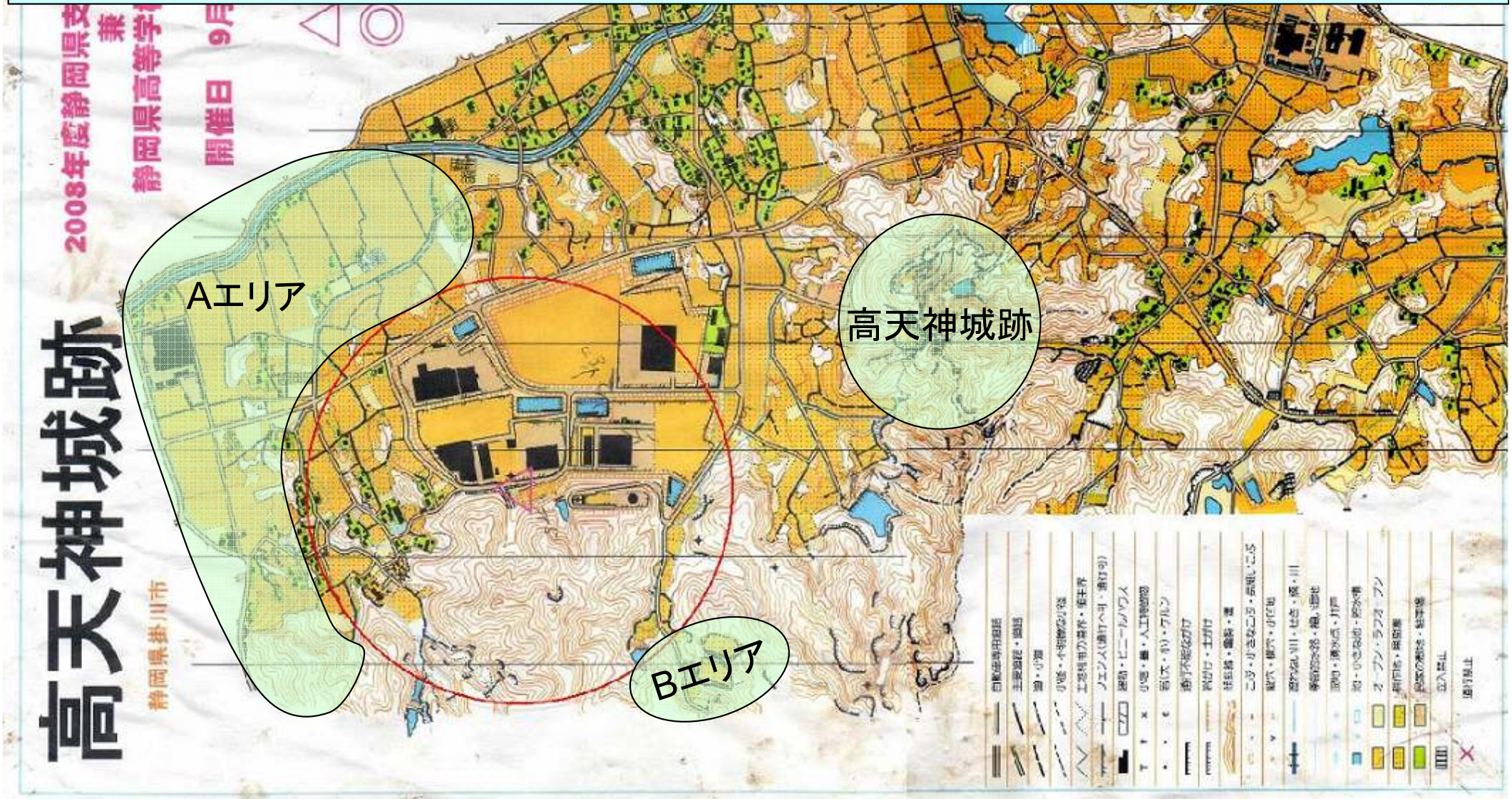
◇スタート前の主催者コメント
スタート円は500m、TX間は300m

あなたならどう攻めますか？

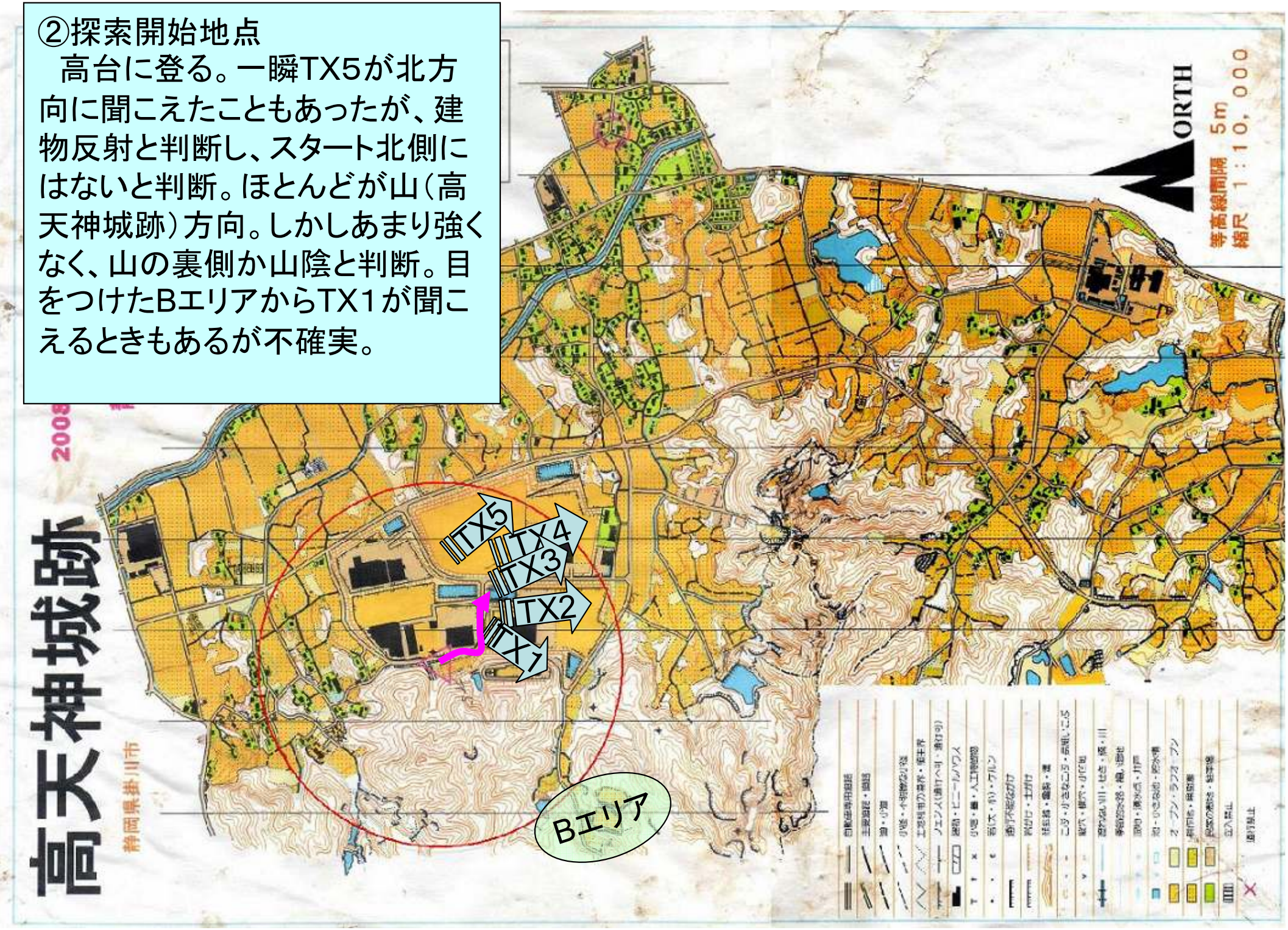


①スタート前の地図読み

スタートは地図の端、スタートの北側のAエリアにTXが存在するかどうかの判断を初期にする必要有り。スタート円が750m→500mとのことなので、500～750mの範囲にTXがあるという可能性が高い。Bエリアか？この判断も初期にしなければならない。テレイン中央に山（高天神城跡）がある。ここには絶対登ることになるだろう。



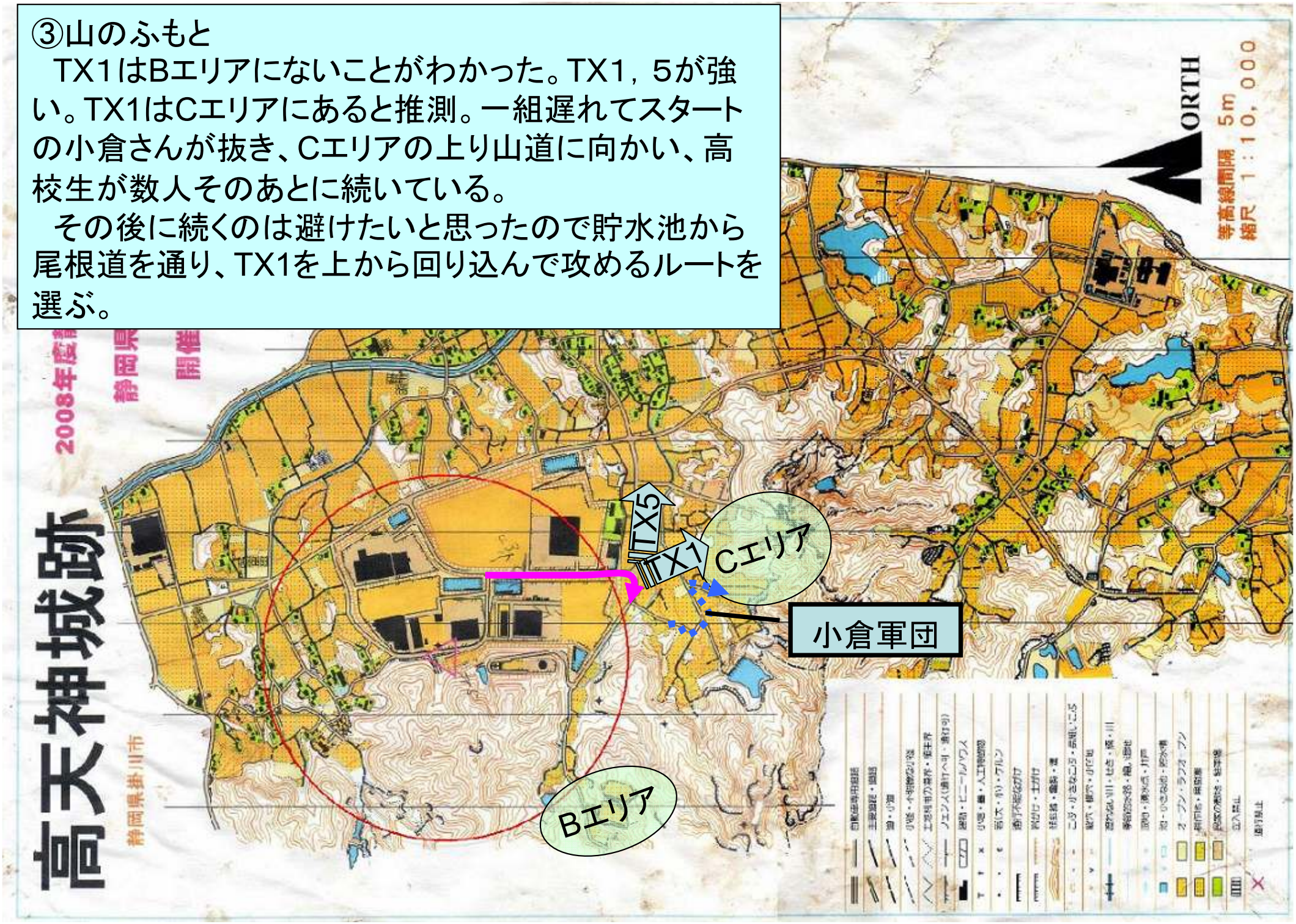
②探索開始地点
　高台に登る。一瞬TX5が北方向に聞こえたこともあったが、建物反射と判断し、スタート北側にはないと判断。ほとんどが山（高天神城跡）方向。しかしあまり強くなく、山の裏側か山陰と判断。目をつけたBエリアからTX1が聞こえるときもあるが不確実。



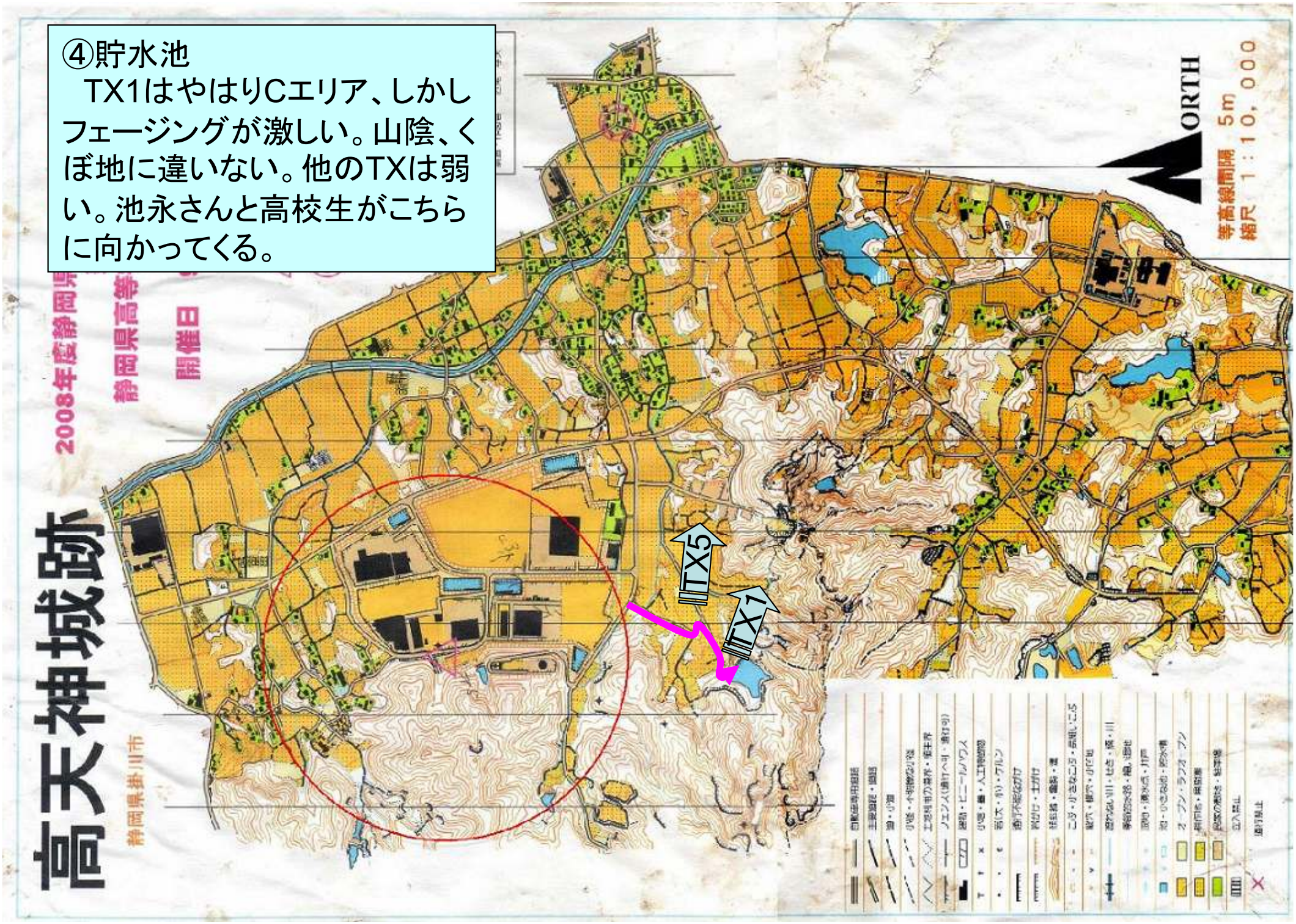
③山のふもと

TX1はBエリアにないことがわかった。TX1，5が強い。TX1はCエリアにあると推測。一組遅れてスタートの小倉さんが抜き、Cエリアの上り山道に向かい、高校生が数人そのあとに続いている。

その後に続くのは避けたいと思ったので貯水池から尾根道を通り、TX1を上から回り込んで攻めるルートを選ぶ。



④貯水池
　TX1はやはりCエリア、しかしフェージングが激しい。山陰、くぼ地に違いない。他のTXは弱い。池永さんと高校生がこちらに向かってくる。



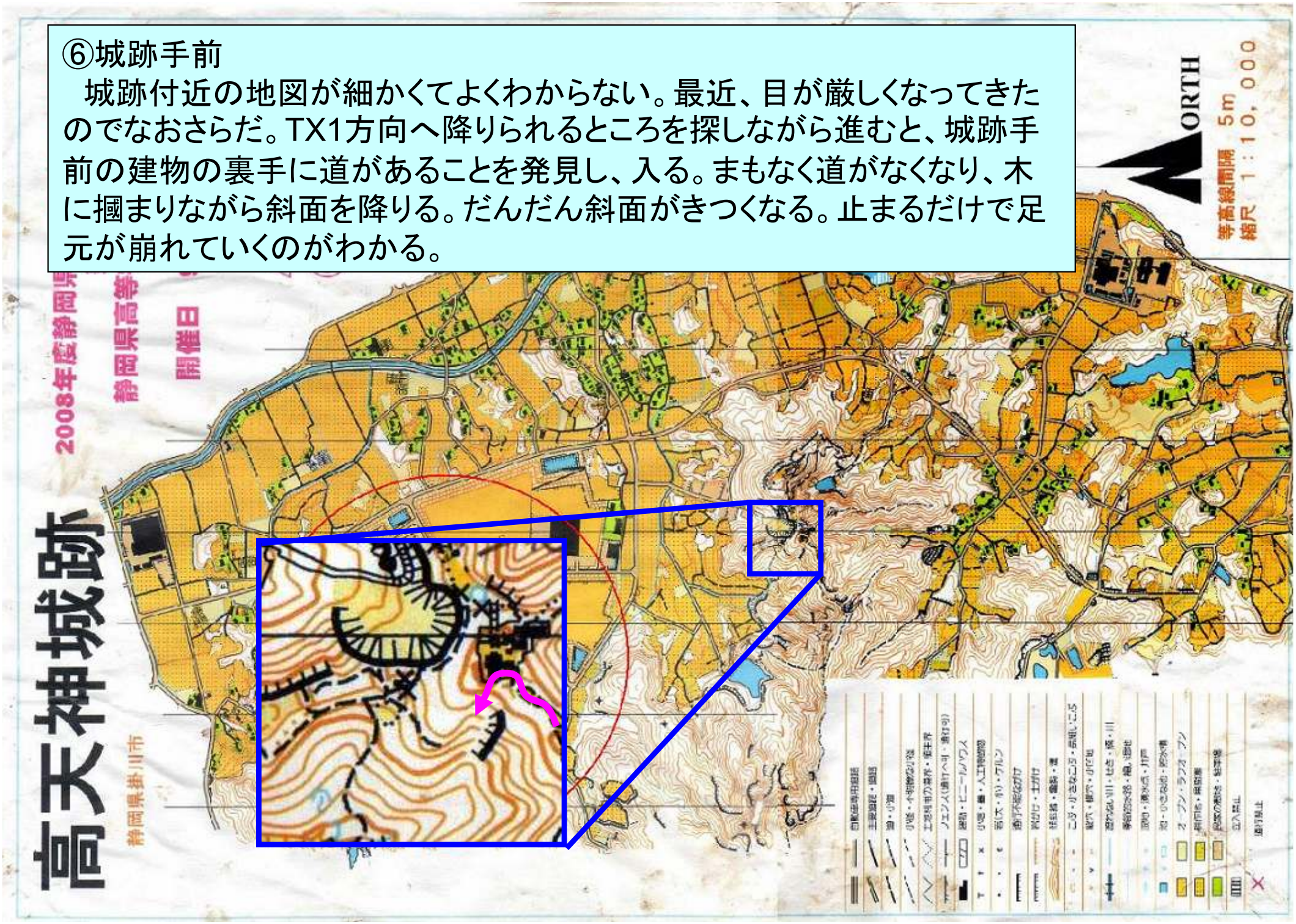
⑤尾根の山道

戻ることも考えたが、初期段階で山に登ることも意味有りと考え、尾根道コースを選択。くもの巣が結構あり、競技者・設置者ともにここを通っていないことがわかる。TX1は相変わらずCエリアで強いが、他は弱くほぼ道方向若干左。TX2はほぼ道の延長線上。

池永さんたちに抜かれる。城址へ行く別れ道を通り過ぎないように注意しながら進み、城址方向へ向かう。

⑥城跡手前

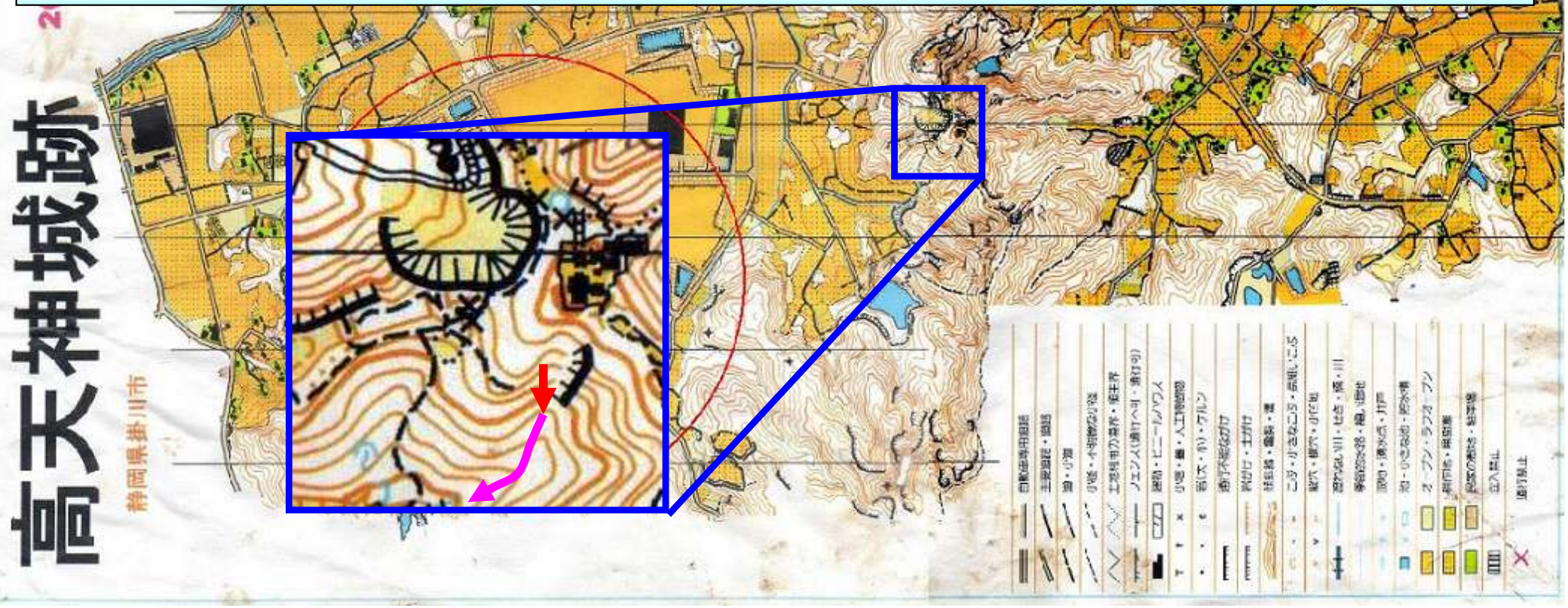
　城跡付近の地図が細かくてよくわからない。最近、目が厳しくなってきたのでなおさらだ。TX1方向へ降りられるところを探しながら進むと、城跡手前の建物の裏手に道があることを発見し、入る。まもなく道がなくなり、木に摑まりながら斜面を降りる。だんだん斜面がきつくなる。止まるだけで足元が崩れていくのがわかる。



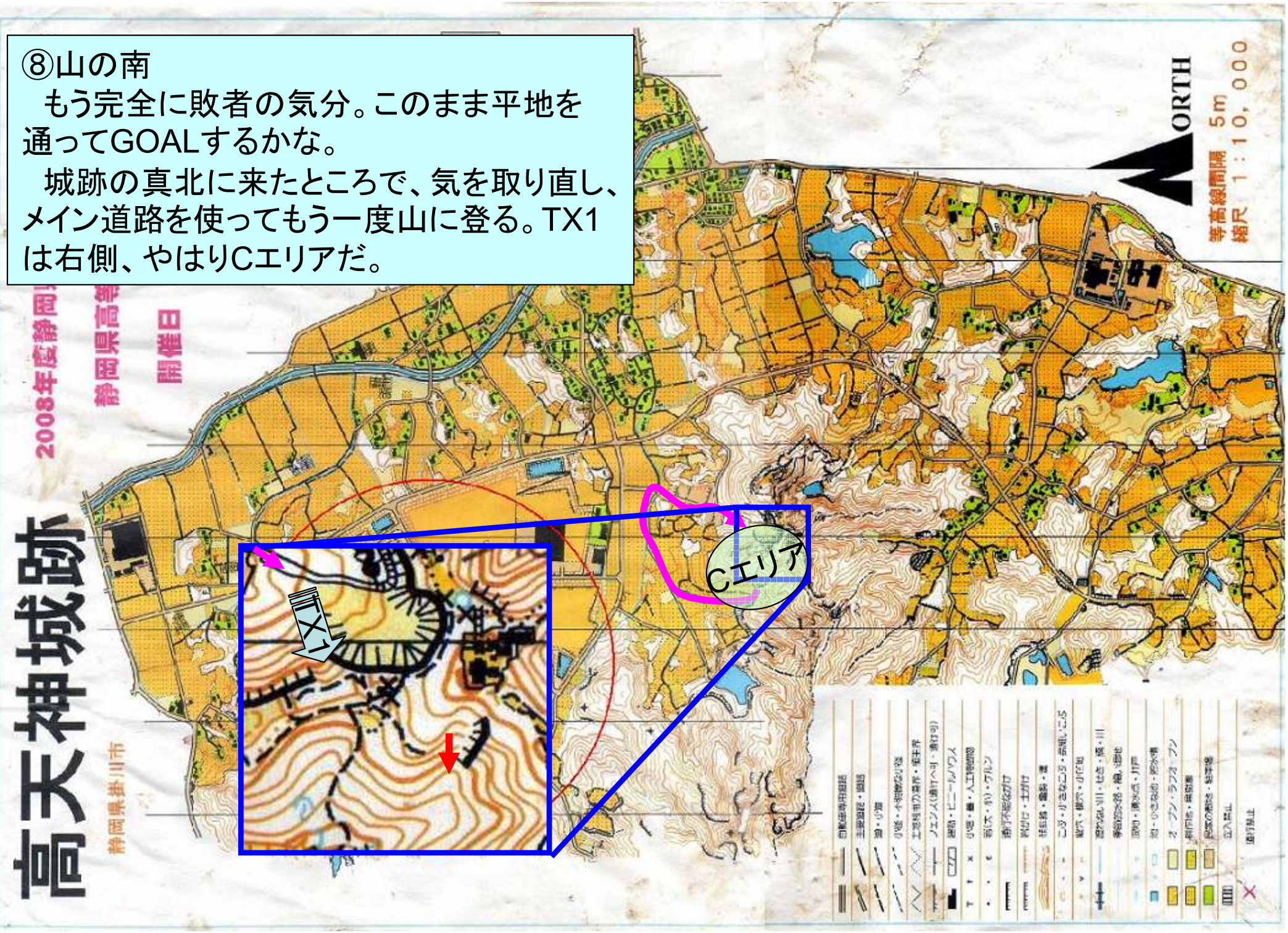
⑦崖

岩場に入り摑まる木がなくなる。動くたびに足元が崩れ、ガラガラと落石の音が下へ伝わっていく。周りを見ても降りられそうなところはない。落ちるのは時間の問題。「怪我」という言葉が頭をよぎる。転がったら命が危ない。滑り台の姿勢で足で制動をかけず、左腕で制動をかけながら、お尻と背中で滑り降りる。エレメントがあばれて顔に突き刺ささらないように、受信機は右手で空中に保持する。いててて。3～5m位落ちただろうか。

体中が泥だらけ、お尻が痛い。全身に傷を負ったようだ。ここはどこだ？水路（大雨時）になっている。体制を取り直し、倒木を掻き分けながら進み砂防ダムに到達すると茶畑が見えた。なんてこった。小倉さんたちと離れたところまで戻ってきてしまった。ここで、左手首に装着してあった時計がなくなっているのに気づくが、もう手遅れ。

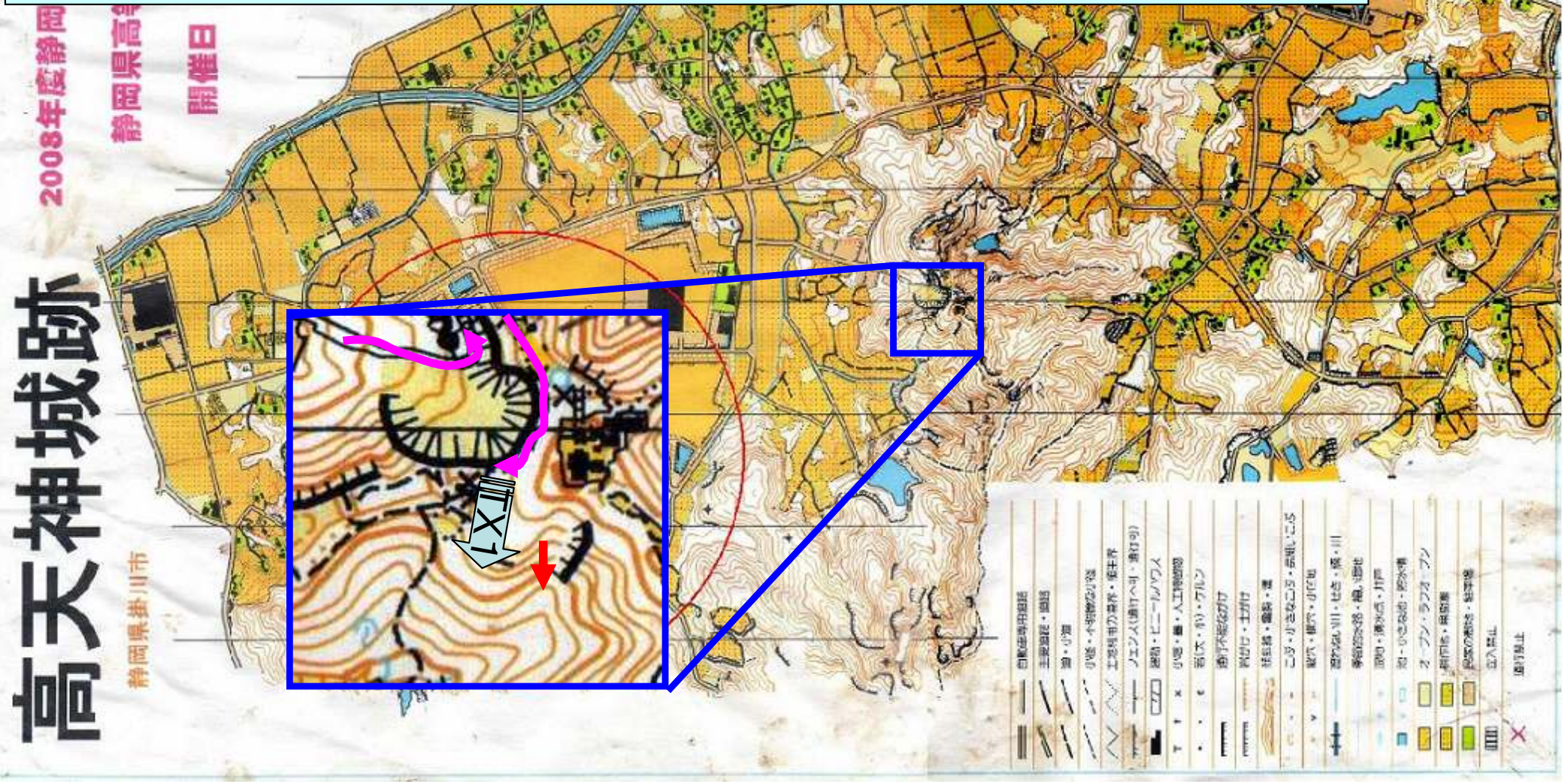


⑧山の南
　もう完全に敗者の気分。このまま平地を通ってGOALするかな。
　城跡の真北に来たところで、気を取り直し、メイン道路を使ってもう一度山に登る。TX1は右側、やはりCエリアだ。



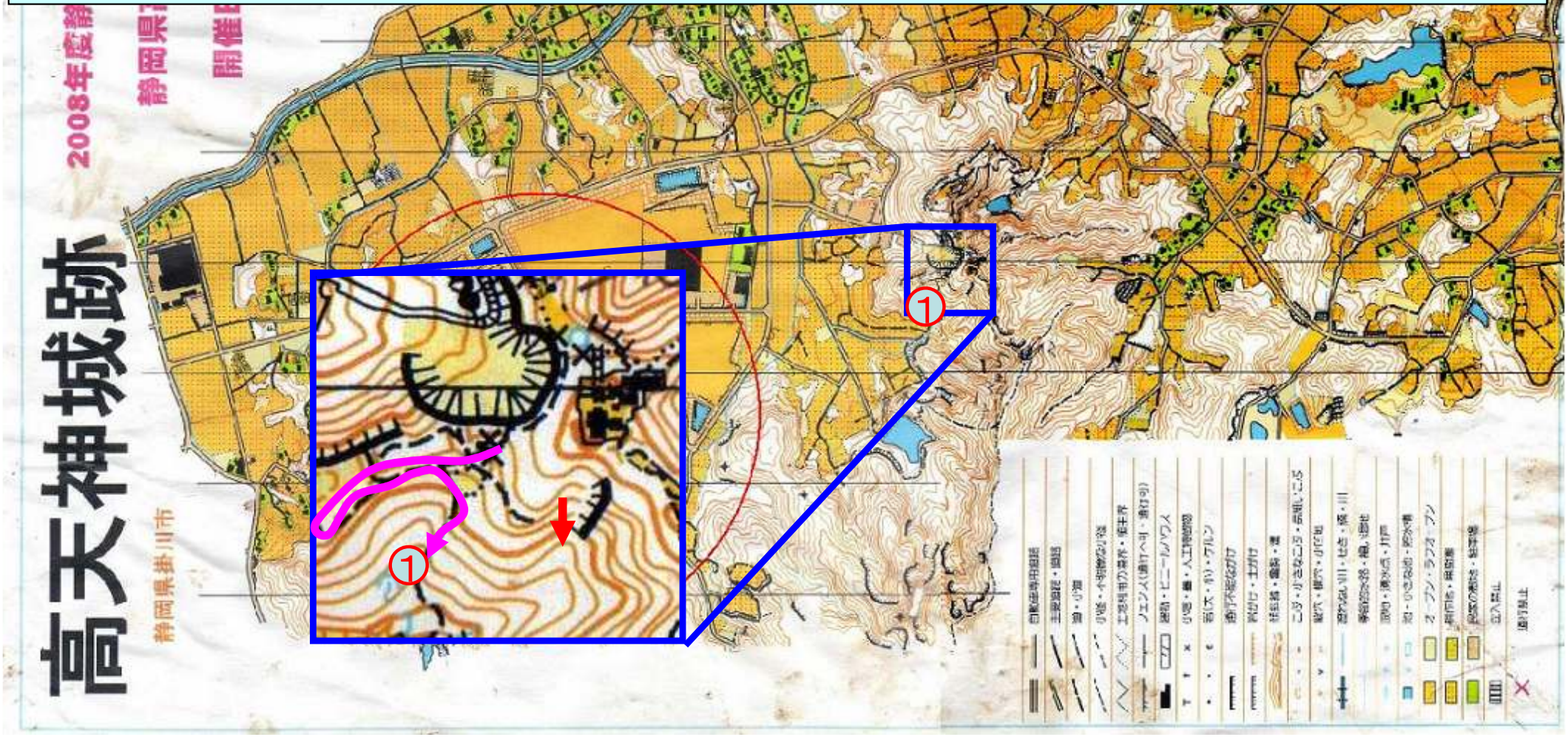
⑨城跡広場

　胸突き八丁の階段を登ると城址広場にでた。
池永さんがいたが、どこかで転んだのかウェアーが汚れている。ドクターストップから本大会から復活した小森田さんが、東へと向かっていく。自分は何もする気にならず、水道で水を飲む。しばらく休んでいるとTX1が鳴く。結構近く聞こえる。「あの道の奥のほうだ」進み始めるが次第に強くなるので、走り始めるが、反対側の斜面が見えたところで停波。

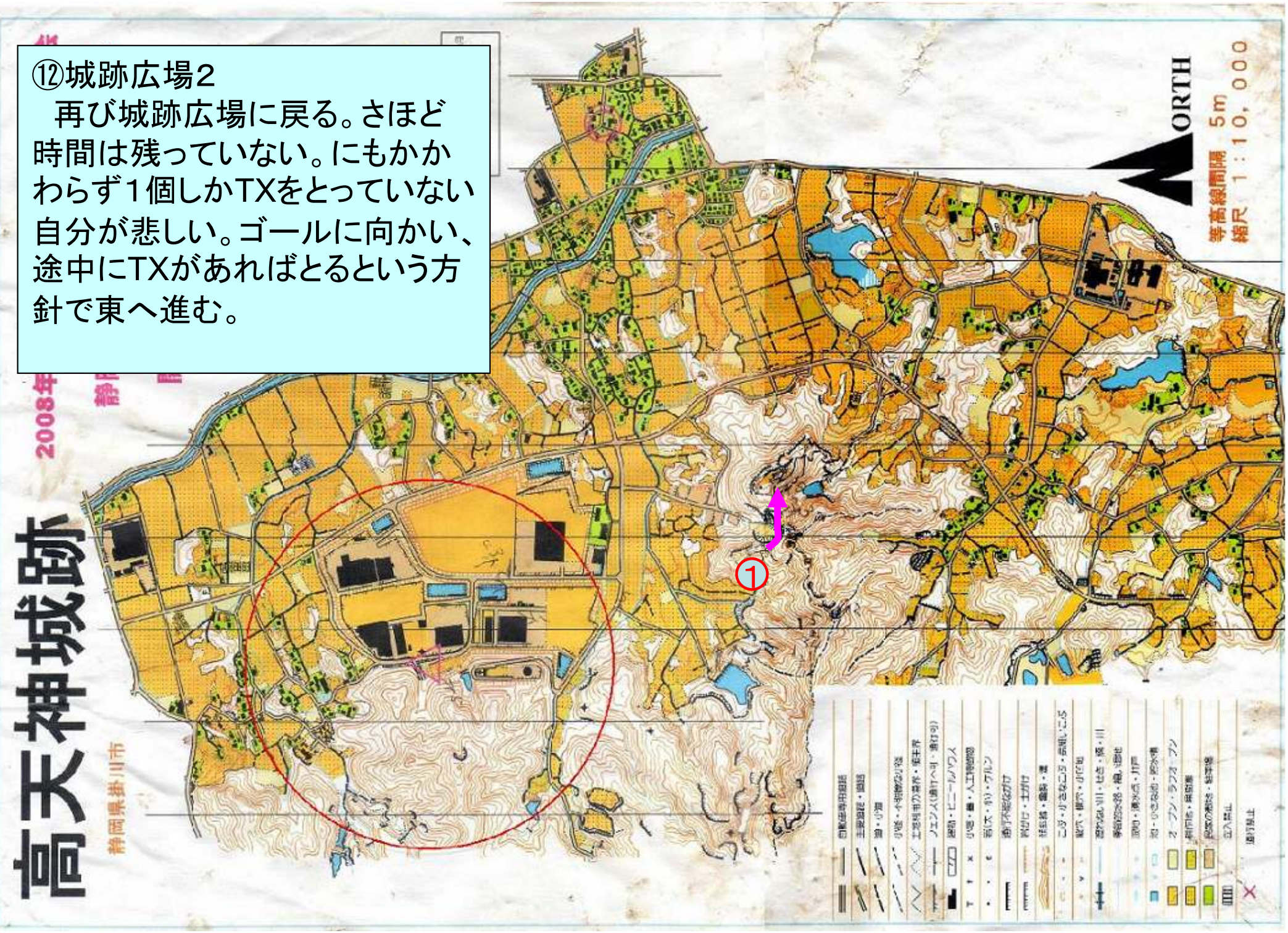


⑪TX1

一段低くなったところへ降り、下を覗く。フラッグは見えない。下にあるかわからなかったので、高度を維持する方向で道を歩き周辺を目視探索する。時計がないので何が鳴いているかわからない。しかし、みんな信号が弱く感度を最大にして注意深く聞いてみると、なんとそれはビーコン。いつの間にかスイッチが動いていた。あわてて戻すが、信号が弱弱しい。結構高い場所であるにもかかわらず。電池か？あわてて予備の電池に切り替える。強烈に入感。TX1だ。ケースのふたが半開き状態、ドライバ代わりの十円玉を握り締めながら、下へ駆け下りる。TX1ゲット。ゆっくりと受信機の蓋を閉める。



⑫城跡広場２
　再び城跡広場に戻る。さほど時間は残っていない。にもかかわらず１個しかTXをとっていない自分が悲しい。ゴールに向かい、途中にTXがあればとるという方針で東へ進む。

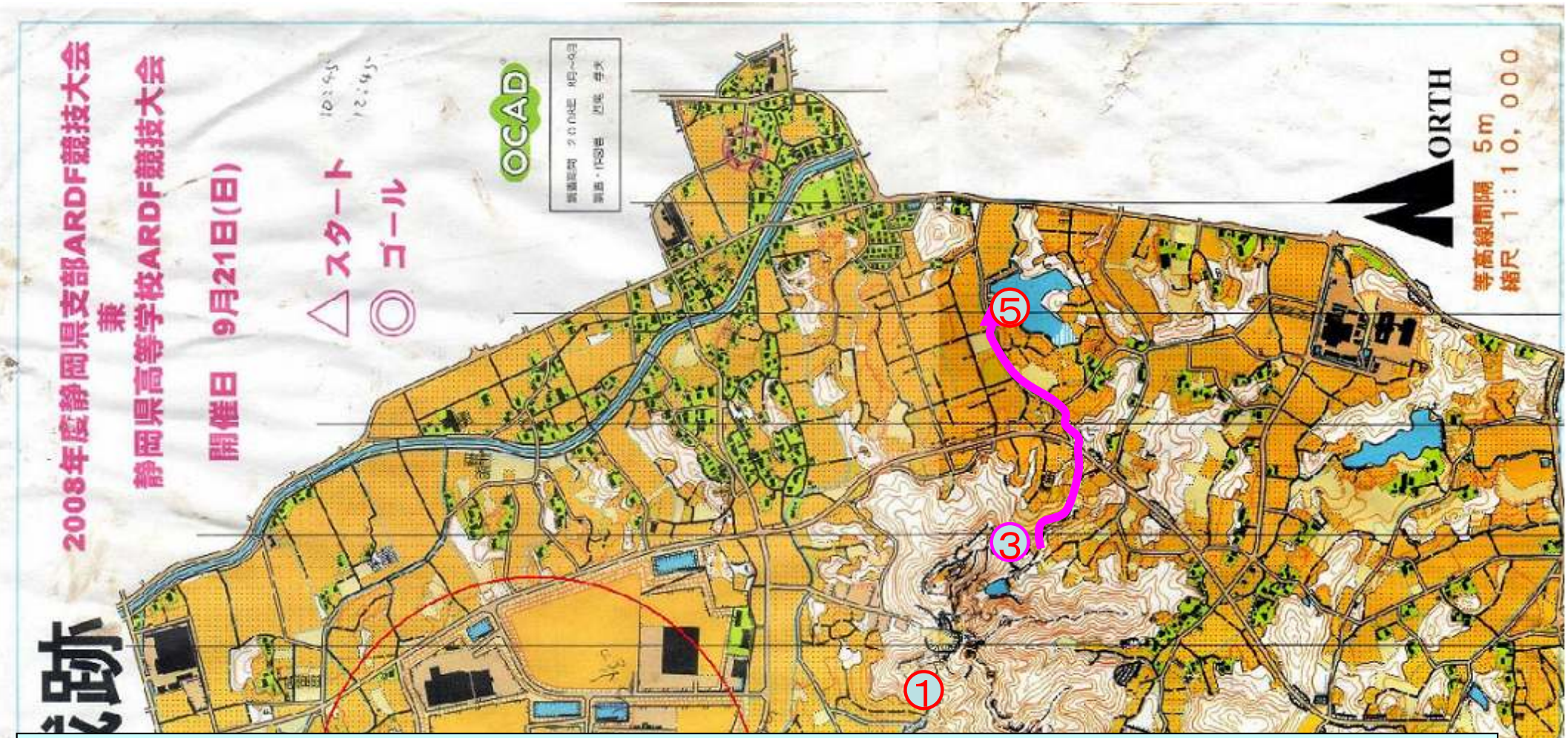


⑬TX3

尾根道を東へ進むと強烈にTX3が入感。えっ近すぎるんじゃないのと思い走ると、方向は下方向へ降りる道。

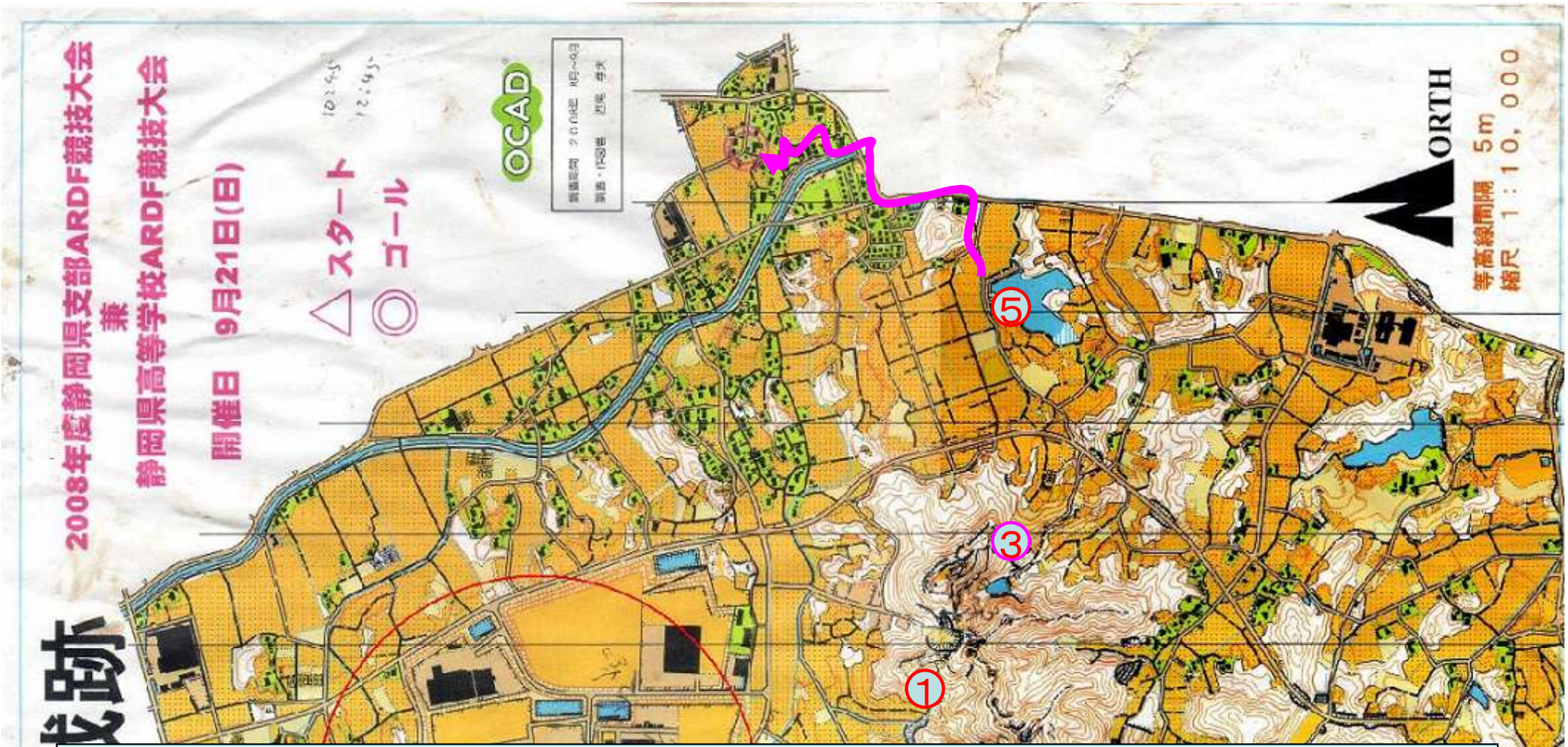
もうこの道沿いしかありえない。

停波したので、きょろきょろしながら降りていくと、いかにもありそうなわき道があり、覗くとフラッグが。TX3ゲット



⑭TX5

　GOALへと向かう。途中にTX5がありそうだ。結構高校生とすれ違う。彼らは時間的に大丈夫なのだろうか。TX5強烈入感。あわてて走る。湖の脇の藪の中だ。道がある。ぼうっと突っ立っている人がいたが、わたしのあわてぶりにびっくりしている。藪に向かう道に到達したところで停波。きょろきょろしながらゆっくりと道を奥へと進む。TX5ゲット。表に戻るとき、さっきの高校生とすれ違う。彼はゲットしただろうか。表の道を三村さんが歩いている。三村さんも歩くことあるんだと思いつつ表の道へ出る。三村さんはGOAL方向に歩いている。どうしたのだろう。



⑮GOAL

いつの間にか三村さんを見失い、GOALへと向かう。ビーコンは住宅街の中。ビーコンを聞くがなぜか弱い。家並みにあわせてだんだんと強くなるが、100mくらいでもATTは遠距離モード。最後の曲がり角を曲がったところでやっと近距離モードの強さになり、ゴールの横断幕があった。でもビーコンアンテナはどこ？受信機を振ってようやく発見。んー、住宅街でのTX設置は結構きびしいなぁ。泥だらけの姿に数々のスタッフから声をかけられ、Sさんには「今日は藪こぎするところはなかったはずだけど」と大笑いをされた。

高天神城跡

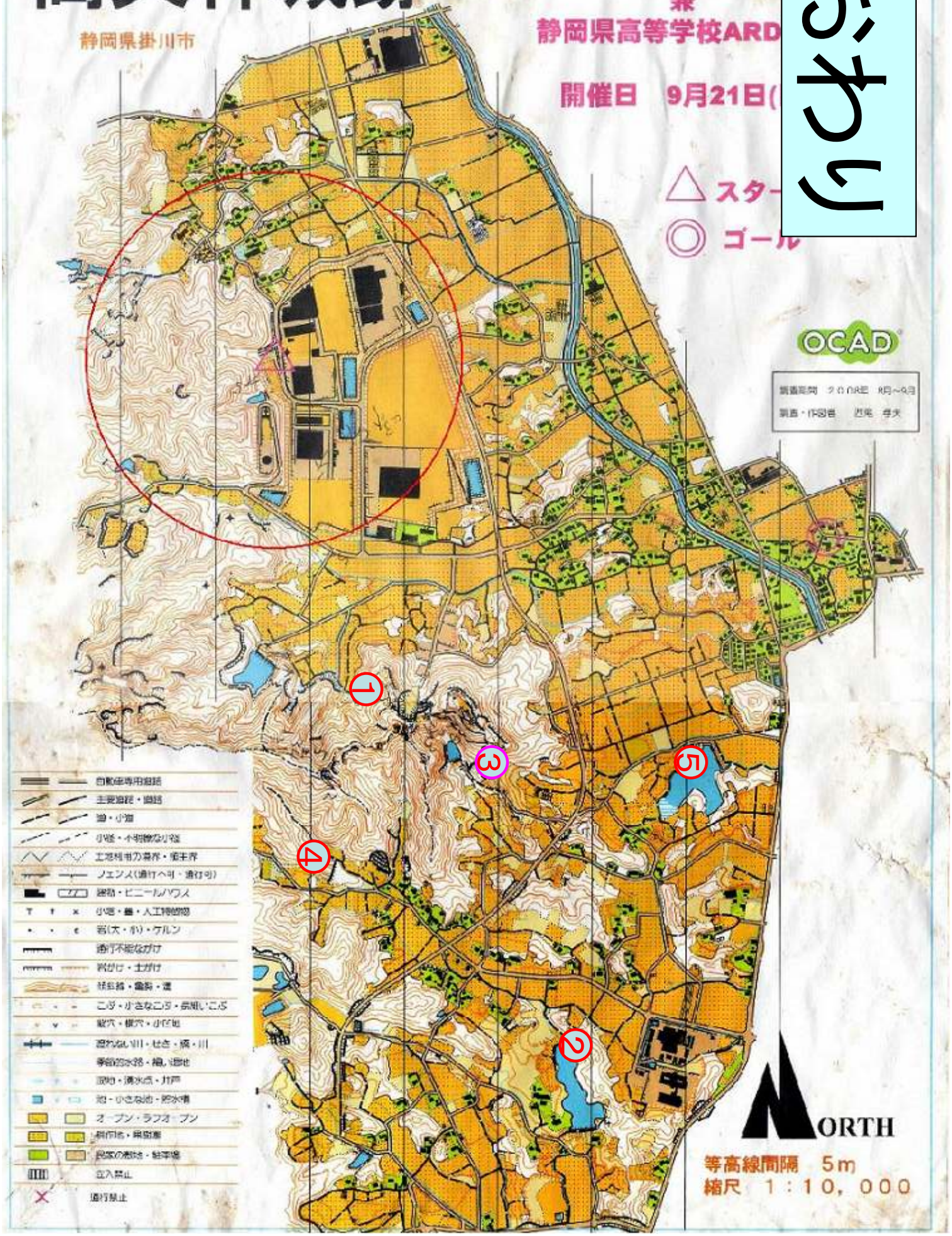
静岡県掛川市

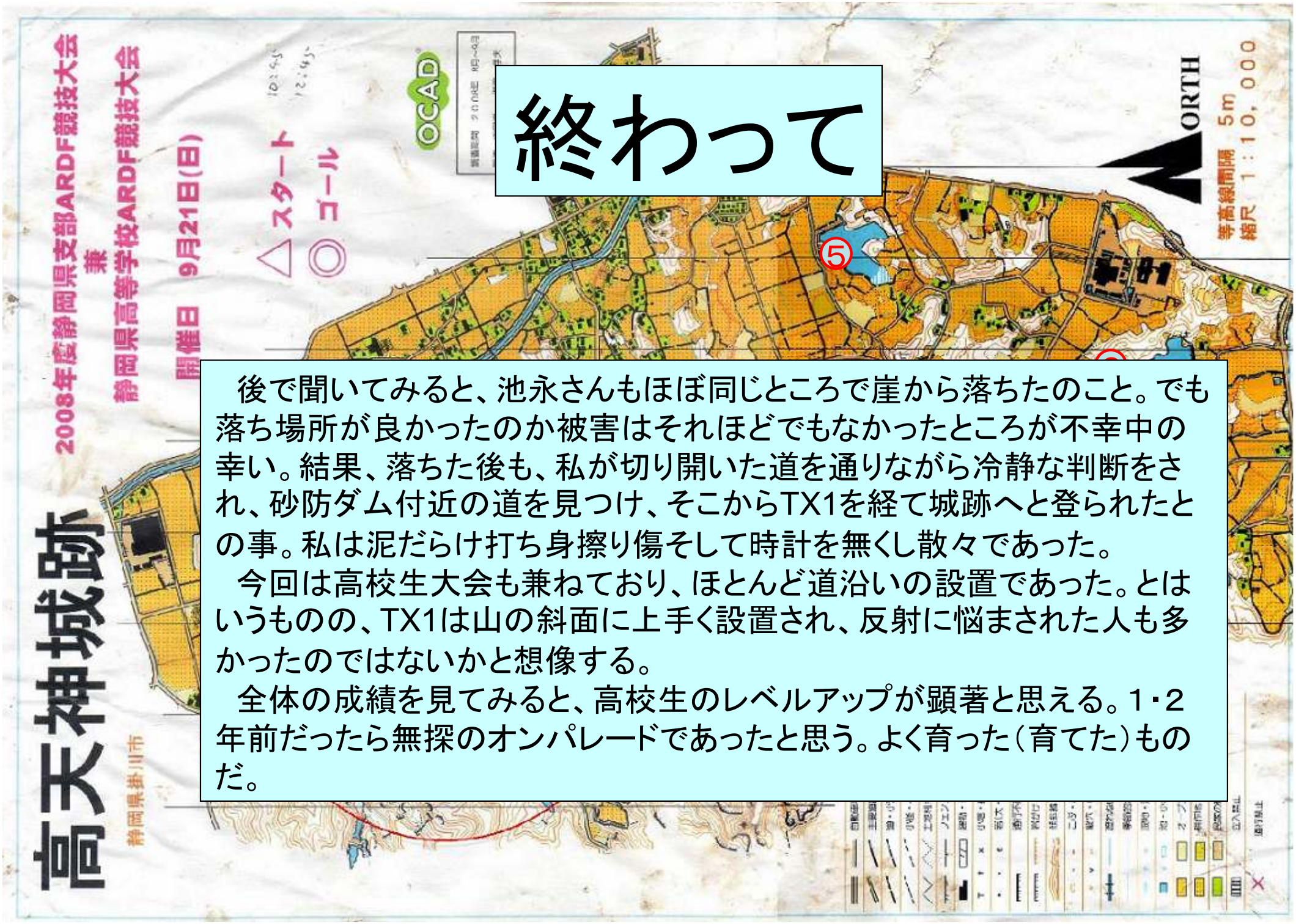
2008年度静岡県支部ARD
兼
静岡県高等学校ARD

開催日　9月21日(

△スタ
◎ゴール

みさり





終わって

後で聞いてみると、池永さんもほぼ同じところで崖から落ちたのこと。でも落ち場所が良かったのか被害はそれほどでもなかったところが不幸中の幸い。結果、落ちた後も、私が切り開いた道を通りながら冷静な判断をされ、砂防ダム付近の道を見つけ、そこからTX1を経て城跡へと登られたとの事。私は泥だらけ打ち身擦り傷そして時計を無くし散々であった。

今回は高校生大会も兼ねており、ほとんど道沿いの設置であった。とはいうものの、TX1は山の斜面に上手く設置され、反射に悩まされた人も多かったのではないかと想像する。

全体の成績を見てみると、高校生のレベルアップが顕著と思える。1・2年前だったら無探のオンパレードであったと思う。よく育った（育てた）ものだ。